

九条の会アピール

憲法 9 条を守るために新たな飛躍を

いま、日本国憲法は重大な岐路に立っています。安倍晋三政権と与党は、9月19日に戦争法（安全保障関連法）の採決を強行し、憲法 9 条の体制を大きく掘り崩すという暴挙に出ました。この動きに対し、「憲法 9 条を守れ」、「立憲主義を壊すな」など、多くの人びとが反対の意思を示し、運動の輪が大きく広がりました。この盛り上がりは、「日本が戦争することは許さない」という決意を込めて制定された憲法 9 条が人びとの中に強く息づいていることを改めて証明しました。しかし、安倍首相は、その後も、戦争法の発動に執念を燃やし、9 条改憲になお意欲を示しています。結成以来 11 年、「地域に根ざす」、「共同を広げる」という原点を大事に歩んできた「九条の会」には、戦争法反対に示された声に応じて、9 条改憲を阻むための運動を新たに飛躍させることが求められています。

全国津々浦々から、戦争法廃止の声をあげましょう。

戦争法と一体の辺野古新基地建設に反対し、オール沖縄の声を踏みにじるな、の声をあげましょう。

憲法 9 条の「武力によらない平和」の理念をくつがえす明文改憲の動きを阻むために立ち上がりましょう。

この間、戦争法反対に取り組んできた、地域、分野の「九条の会」のみなさんに改めて訴えます。

戦争法反対運動では安保闘争以来といわれる多くの人々が創意工夫をこらしてさまざまな行動に立ち上がりました。6 割に及ぶ人々が戦争法案に反対し、8 割を占める人々が法案の説明が不十分だと感じています。憲法 9 条違反の戦争法を廃止するという課題を目の前にして、今一度すべての地域のすべてのひとを対象に宣伝し、学習会を開きましょう。

そして、戦争法反対運動でつちかった共同の輪をから生まれた結びつきを活かしながら、各地域、各分野でさらに広げる努力を粘り強くすすめていきましょう。近隣の会同士で互いに支え合い、交流することで運動の活性化を図ることも重要です。

「戦争法廃止」の署名運動や沖縄での新基地建設反対運動など、「憲法 9 条を守る」という点からも重要な運動に積極的に取り組みましょう。地域で開かれるこれらの集会には、「九条の会」としてもできるだけ多数で参加しましょう。

日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、「改憲」のくわだてを阻むため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えます。

2015 年 11 月 13 日

九条の会